

# 大和村防災マップ

## 志戸勘地区

### 我家の避難場所

#### 津波の心得

##### 津波情報に注意する

津波警報

津波が発生したら、テレビやラジオ等とおして津波情報が入ることが大切です。津波の到達時間が遠く離れた場合は、発表より高くなる場合もあります。

##### 津波のしくみ

###### 津波の発生

地震により海底・海面が隆起・沈没

津波が発生したら、テレビやラジオ等とおして津波情報が入ることが大切です。津波情報には、常に注意しましょう。

###### 津波の速さ

津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わり、浅くなると速さが遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ、海から家や木が倒れる音が聞こえ、波高が高くなります。

###### 津波の遡上高

「津波の高さ」とは津波がない場合の潮位（平常潮位）から、津波によって海面が上昇した時の高さの差を言います。さらに、海岸から内陸へ津波が、かき上げられる高さ（潮高）を「遡上高」と呼んでおり、高い場合には3～4倍程度までなることが知られています。

### 避難時の心得

- ラジオ、テレビで最新の気象情報、洪水情報を入力しましょう。
- お年寄りや子供は、早めに避難が必要です。
- 避難する時の荷物は必要最小限(非常食、飲料水、懐中電灯、携帯ラジオなど)にし、2人以上の避難を心掛けましょう。
- 徒歩での避難を心掛けましょう。車を使った避難には、危険を伴うことがあります。
- 避難する時は、まず水の浸からない道路へ速やかに移動しましょう。
- 洪水による水の流れが、場所によっては相当速いことが予想されます。避難時には、水の流れの速さにも十分注意しましょう。
- 村役場などからの避難の呼びかけがなくとも、各人が洪水や崖崩れなどの危険を感じた場合には、自主的に避難しましょう。



### 土砂災害危険箇所・危険区域図

土砂災害の発生時には、こんな現象が起ることもあります。

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 川の流れが滞り、濁水が溢れ始める
- 斜面から水が噴き出す
- 沢や村戸の水が濁る
- 地面がひび割れがでる
- 小石がバラバラ落ちてくる

1時間に20ミリ以上、または100ミリ以上の雨が降ると、土砂は速度が速いため、日頃から家族全員で避難開始してから100ミリの降土砂の流れの方向に対して、場所や避難する道順を決め、雨量になったら注意が必要で、直角に逃げるようにしましょう。

### ◎デマにまどわされない!!

災害時は、デマなどに惑わされやすくなります。報道機関や区市町村、消防・警察などから情報に注意しましょう。



### ◎山崩れ・崖くずれ・津波にも注意!!

山崩れ・崖くずれ・津波が発生しそうな地域では、すばやく避難しましょう。

志戸勘公民館

凡 例	
名称	記号
避難場所	
土砂災害警戒区域等	
土石流特別警戒区域	
土石流警戒区域	
急傾斜地の崩壊特別警戒区域	
急傾斜地の崩壊警戒区域	
標高色	
10～20m	
0～10m	

#### 土石流危険渓流

- 渓流の勾配が急である。
- 渓流に大きな石がごろごろしている。
- たくさんの土砂が堆積している。
- 上流が山崩れなどで荒れている。
- 過去に土石流があった。

#### 地すべり危険箇所

- 過去に地すべりがあったところ、今も少しずつ動いている。
- わき水や地下水が豊富である。
- 断層があるところやもろく崩れやすい岩石がある。
- 火山作用あるいは温泉の作用で粘土化した土がある。

#### 急傾斜地崩壊危険箇所

- 山の傾斜に亀裂やわき水がある。
- 岩石がもろく崩れやすい地質である。
- 過去に山崩れがあった。
- 山崩れがあった場所に隣り合っている。
- 急斜面で、軟弱な地盤がある。
- 水の集まりやすい斜面地形である。
- とときどき落石がある。